



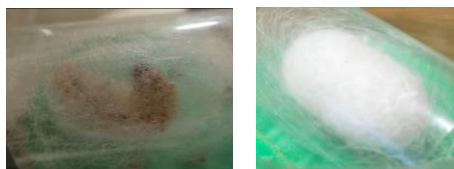
7. 蚕は続くよどこまでも

蚕飼育研究会 田中 尚子

動画リンク <https://www.pesj-bkk.jp/OSF/om.php?id=vVcioO1jf0>

1. 子どもたちへのメッセージ

【蚕ガの幼虫】は、サナギになる前に、口から糸を出して自分の体のまわりに繭（まゆ）を作ります。繭から作られる絹糸は、布を作るだけではなく、人工血管やワクチン研究など、医療分野にも活用されています。



2. 【蚕ガの幼虫】を観察しよう

今年も【蚕ガの幼虫】を観察します。観察のポイントは、【桑の葉を食べるようす】【体のもよう】【うんちをするときのようす】などです。ブースに展示する幼虫は、丈夫な品種を用意してあるので、てのひらに乗せて観察することができます。



その他にも、【幼虫が卵から生まれるところ】と【繭の中のサナギ】を観察できます。タイミングが合えば、【糸を吐く幼虫】や【羽化した成虫】を観察することもできます。

3. 家蚕の卵（蚕種）を催青（さいせい・目覚めさせること）させる会社

昨年度、長野県上田市の蚕種会社について書きました。この会社では、6℃～9℃の冷蔵庫で卵を保管し、次の年の春、完璧な日照時間と温度管理をして催青させ、農家や研究所に届けています。長年引き継がれてきた技術が途絶えないように、若い社員への技術の伝承も進んでいます。

ここから送ってもらった蚕種を用いて、大阪でも、毎年、いくつかの小学校で、蚕の生まれる様子を観察してきました。以前は、宅配便の到着の遅れや、搬送時の気温が高い場合に、到着時には、卵が全部孵化してしまっていることがありました。そこで、昨年度、孵化の前日に卵をクール便で送ってもらい、そのあと常温で一日保管して次の日に孵化させる方法を試したところ、全て成功しました。



4. 桑の木が切られないように

このように、孵化を見る方法も確立しましたが、今も、桑の葉に勝る蚕の餌はありません。桑の苗木を植えても、その木が、子どもたちが蚕を飼って観察できるぐらい成長するには、長い時間がかかります。どうか、蚕の餌になる桑の木が切られないように協力してください。

5. 問い合わせ先

元、大阪市立小学校教諭 田中尚子（ひさこ） hisako@oct.zaq.ne.jp 090-8575-3156

6. 参考になる資料

科学のアルバム「カイコまゆからまゆまで」 岸田 功 あかね書房
パソコン検索【カイコってすごい虫】国立研究開発法人生物資源研究所・・・歴史的な背景から最新研究まで詳しく書かれています。